

現代アートと自然・暮らしを眺める島めぐり

アートと食の宝庫 濑戸内を訪れる 直島・豊島・高松

“現代アートの聖地”として日本だけでなく世界からも注目されている直島。自然の豊かさがとても魅力的な豊島(てしま)。瀬戸内には多くの個性的な美術館が存在します。今回の旅では島々をめぐりながら自然を感じ、同時にアートにも触れていただきます。宿泊は島々への玄関口、高松港の目の前のホテルに2泊。瀬戸内芸術祭2019も終了して、落ち着きを取り戻すであろうタイミングで瀬戸内を訪れませんか。

イサム・ノグチ庭園美術館

20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチは、きわめてユニークな芸術家で、庭園美術館は、150点あまりの彫刻作品はもとより、自ら選んで移築した展示蔵や住居イサム家、晩年制作した彫刻庭園など、全体がひとつの大きな「地球彫刻」あるいは環境彫刻となっています。



イサム・ノグチ庭園美術館外観

1日目昼食 郷屋敷・讃岐うどん

江戸時代に建てられたうどん屋というよりも、料亭という響きが似合う「郷屋敷」。美しい自慢の庭園を眺めながら食するうどんの味は格別です。



名店「郷屋敷」の海和里子/イメージ

2日目昼食 小豆島オリーブ園/ひしお丼

小豆島産100%のエキストラバージンオイルで炒めて、小豆島のもうみ味噌を使って丁寧に作ったそぼろと、島でとれた野菜をたっぷり使ったひしお丼です。※ひしお丼は島の食材を使用したご当地グルメです



小豆島オリーブ園/イメージ

地中美術館

瀬戸内の美しい景観を損なわないよう建物の大半が地下に埋設され、館内には、クロード・モネ、ジエームズ・タレル、ウォルター・デ・マリアの作品が安藤忠雄設計の建物に恒久設置されています。地下でありながら自然光が降り注ぎ、一日を通して四季を通して作品や空間の表情が刻々と変わります。

豊島美術館

瀬戸内海を望む小高い丘の中腹に立地。周囲には美術館建設を機に地元住民が中心となって再生した棚田が広がり、自然と建築、アートが融合した美しい環境をつくりだしています。



美術館の概念が変わる豊島美術館

香川県立東山魁夷せとうち美術館

瀬戸大橋を望む絶好の地に、日本画の巨匠・東山魁夷画伯の版画作品を中心に約350点を収蔵。寄贈された版画作品や貴重な資料が展示・保管されています。

旅行期間

2019年12月5日(木)~7日(土)

※上記日程が満席の場合は翌週12月12日(木)~14日(土)を追加設定致します。

旅行代金

138,000円

※1名様1室利用追加代金:4,400円
(2泊分・シングルルーム利用)
※お部屋数に限りがあるため1名様1室利用
はリクエスト受付とさせていただきます。

募集人員

15名様(最少催行人数12名)

宿泊ホテル

JRホテルクレメント高松<連泊>



瀬戸内の多島美に溶け込んでいる地中美術館(地中美術館) 写真:藤塚光弘

1 羽田空港07:45発→<ANA531便>→09:00高松空港着→日本画家東山魁夷画伯より寄贈された作品を展示する「香川県立東山魁夷せとうち美術館」を見学→江戸時代に建てられた与力屋敷「郷屋敷」で名物讃岐うどんの昼食→20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチ生前の霧岡のまみに守られた静謐な時空を鑑賞「イサム・ノグチ庭園美術館」→16:45頃ホテル着
食事:朝×・昼○・夕○【JRホテルクレメント高松:泊】

2 08:45ホテル発→09:00高松港発→フェリー→10:00土庄港着(小豆島)
→小豆島島内観光と昼食→13:10土庄港発(小豆島)→フェリー→13:40江櫃港着(豊島)→アーティスト・内藤礼と建築家・西沢立衛による「豊島美術館」を見学→古い民家を改修して作られた「豊島横尾館」を見学→16:05家浦港発(豊島)→フェリー→16:54土庄港着(小豆島)17:30発→フェリー→18:35高松港着→18:45頃ホテル着
食事:朝○・昼○・夕○【JRホテルクレメント高松:泊】

3 09:15ホテル発→10:14高松港発→フェリー→11:04宮港着(直島)→空き家などを改修し空間そのもののアーティストが作品化「家プロジェクト」を見学本村地区にて昼食→美術館とホテルが一体となった施設「ベネッセハウスミュージアム」を見学→16:35宮港着(直島)→フェリー→16:55宇野港着(岡山)→岡山空港20:05発→<ANA660便>→21:25羽田空港着
食事:朝○・昼○・夕○(お弁当)
添乗員/同行します 食事/朝食2回・昼食3回・夕食3回(お弁当含む)
交通機関/航空機(ANA)・貸切バス(予定運行会社:屋島観光バス株式会社)